

平成 26 年度 細胞検査士会総会議事録

日時：平成 26 年 6 月 7 日

会場：横浜パシフィコ 501+502

参加人数：141 名

石井会長挨拶

子宮の日の活動として今年は 1000 名もの細胞検査士に協力して頂いた。今年度より臨床細胞学会から 5 万円を限度に、地域連携を通して支援して頂ける様になった。うまく活用して頂きたい。

CT のクレジットは地域連携組織に入会することにより 4 年間で 100 点取得でき、全体で 280 点のクレジットを取らなければ更新できなくなる。全ての細胞検査士が地域連携組織に入会するようお願いする。

11 月までに役員選挙がある。昨日の役員会で選挙に関しては決定した。皆様の賛同を後に得たいと思う。

一次試験のスライド試験問題集ができた。印税は臨床細胞学会に入る。購入を宜しくお願いしたい。

物故会員

馬渡 聖子 殿 (CT 4826)

千田 育司 殿 (CT 2643)

荻原 重正 殿 (CT 2606)

成澤 知里 殿 (CT 8476)

赤塚 由子 殿 (CT 279)

黙祷が捧げられた。

議長選出

細胞検査士会規則 役員会に関する運用細則 第 6 条に基づき、片山 博徳総務委員長が議長に推薦され、総会出席者により承認された。

議案審議

(1) 1 号議案：公益社団法人日本臨床細胞学会細胞検査士会に関する施行細則 (平田規約員長)

説明：細胞検査士会の最上位の規則とともに細胞学会の規則でもある。

変更には細胞検査士会総会の承認と理事会の承認が必要になる

体裁を整え、文言を細胞学会に合わせた。

事業報告、収支決算、事業計画、予算案は細胞検査士会総会の承認が必要となる。

理事会の承認、細胞検査士会総会の承認を経て発行することになる

附則として会費の事を入れた

会場出席者拍手多数により 1 号議案は承認された。

(2) 2 号議案 : 平成 25 年度事業報告

会場出席者拍手多数により 2 号議案は承認された。

(3) 3 号議案: 平成 25 年度決算報告 (大塚経理委員長)

4 月 6 日に監査を受けたが, 5 月 27 日に学会事務局より収入の部のワークショップの参加費が異なっていたと連絡を受け, 急遽修正し, 監事に確認して頂いた。

監査報告

山岸監事: 会計報告、事業報告ともに監査について問題はない。しかし会計については学会直前に訂正があり混乱した。細胞検査士会には影響が無い事を確認し, 今後、このような事が無いように学会と細胞検査士会が並行して作業を行うよう学会に申し入れた。法人化に伴って細胞検査士会の財産を学会へ寄付し, その行方が心配であったが, 公益社団法人の報告では細胞検査士会の所有であることがはっきりわかるように区分されていた。3000 万になるこの財産をぜひ有効利用してもらいたい。

細胞検査士会役員の業務の負担が大きいため, 臨時の雇員を雇うように申し入れた。細胞検査士会の実務を誰がやっても負担にならないように願っている。

会場出席者拍手多数により 3 号議案は承認された。

(4) 4 号議案 : 平成 26 年度事業計画

2014 年

6 月 21 日(土)~22 日(日) 乳腺・消化器ワークショップ 札幌医科大学

9 月 13 日(土), 14 日(日) 細胞検査士養成ワークショップ (第 1 回) 大阪医科大学

9 月 20 日(土), 21 日(日) 細胞検査士養成ワークショップ (第 2 回) 日本医大

開催日未定 肺・甲状腺ワークショップ (第 1 回) (第 2 回)

会場出席者拍手多数により第 4 号議案は承認された。

(5) 5 号議案 : 平成 26 年度予算案 (大塚経理委員長)

会場出席者拍手多数により第 5 号議案は承認された。

(6) その他

質問事項.

Q 総会出席者の少ない人数で承認することになるのか, 専門医会ではクレジットを与えて出席者を増やしている

A 専門医会のようには考えられないが, 計画はしていくつもりである

A 総会では出席者の半数で承認される。全員の委任状を取るのには難しいので検討する必要がある

Q 前回の選挙では問題があった。アンケート踏まえた上で次回実施するのか

A 前回の選挙と殆ど変わらない形で行う、しかし選挙管理委員会は役員に立候補しない人に委嘱する

Q 上級細胞検査士はどこまで進んでいるのか

A あり方委員会で検討しているが、まだ固まっていない。

Q 細胞診断士はどうか

A 診断という表現は医者以外が使用するのには難しいというのが、行政の考えである。

石井会長

27年度全評議員選出数は444名のうち、細胞検査士は62名で4%の増となった。現在、細胞検査士の正会員は17%である。将来正会員数を3割、4割と増やし、細胞検査士評議員を多くすることでもっと違った活動ができると思う。

議事録作成（庶務委員会）：仲村 武